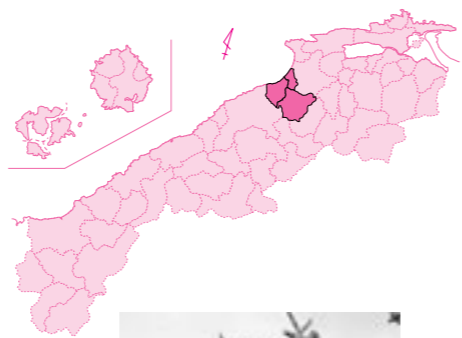


神話と温泉の町

佐田町・多伎町・湖陵町



雲州久邑長沢焼窯跡



口田儀台場跡



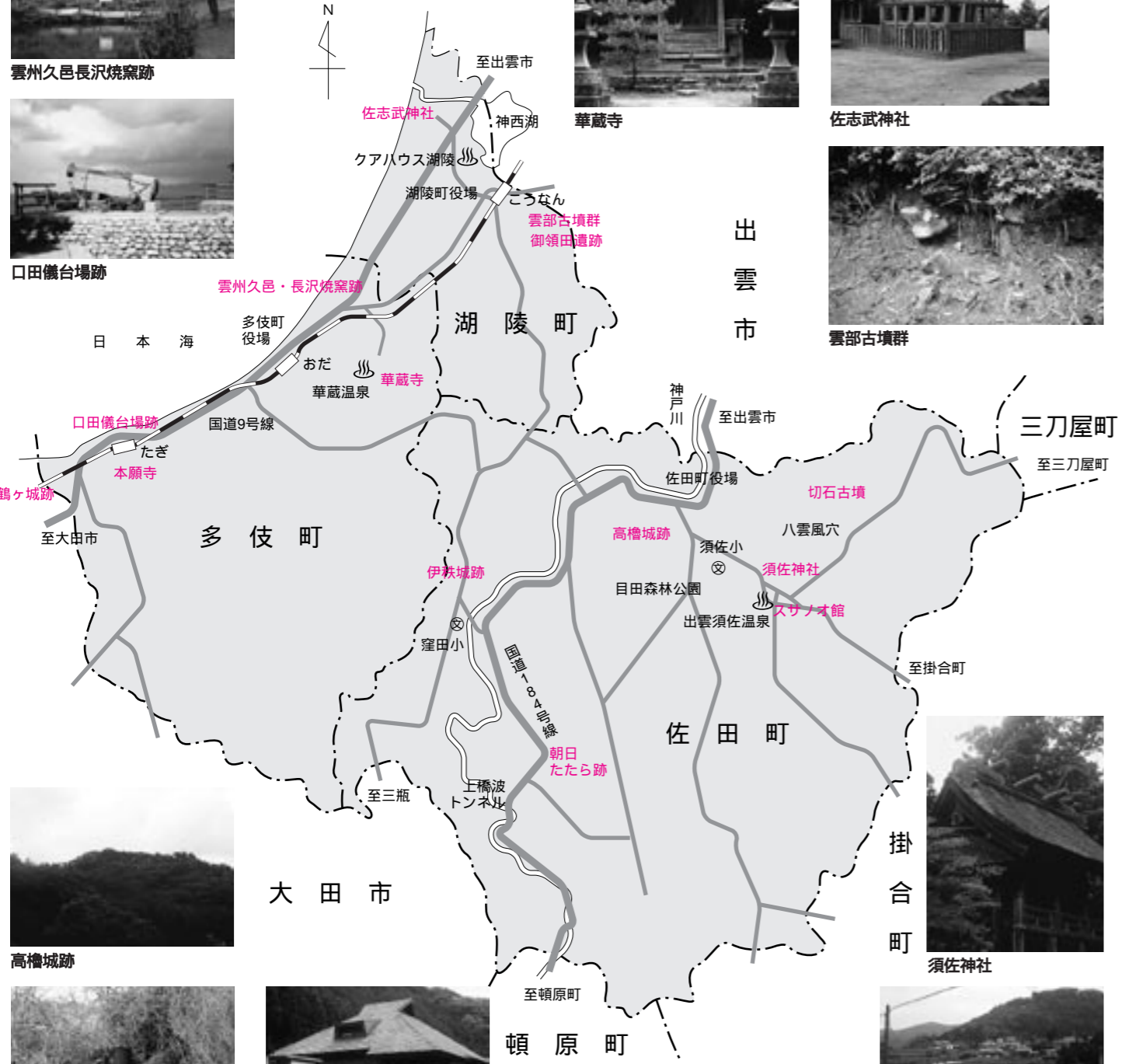
華蔵寺



佐志武神社



雲部古墳群



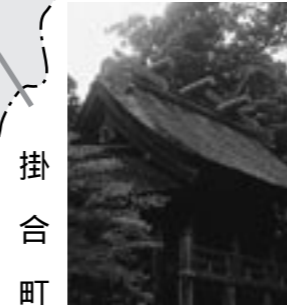
高櫓城跡



切石古墳



朝日たたら跡



須佐神社



伊秩城跡

山城入門におすすめ 高櫓城跡

佐田町反辺 須佐地区に点在する城跡の中核にあたる。もとは尼子氏の家臣・本庄常光が守った城で、尼子氏が滅ばされたあとは毛利氏によって戦国時代末期まで使われていたといわれている。現在は城跡の馬場を中心に、目田森林公園としてパンガロ・ヤヤマタノオロチをイメージした巨大遊具、ミステリ・ハウスなど、家族連れに最適のプレイスポットに囲まれている。
<交通> JR出雲市駅からバス30分出雲須佐下、徒歩20分
<連絡先> 0853-84-0805(公園管理棟)

七不思議あり 須佐神社

佐田町須佐 <指定>国重文・工芸(兵庫鎮太刀) 県・建造物(本殿)・彫刻 『出雲国風土記』にも登場する古い社で、境内にはいとと荘厳な大社造りの本殿と樹齢1200年という杉の古木が迎えてくれる。戦国時代尼子氏が奉納したとされる「兵庫鎮太刀」や室町時代末の作である神楽面「納首利」など、社宝も豊富。また神社にまつわる七不思議が今も残されている。
<交通> JR出雲市駅からバス50分出雲須佐下車すぐ
<連絡先> 0853-84-0605
<いにしえ> 6巻P20

スサノオ文化の発信基地 スサノオ館

佐田町須佐 1992年、須佐神社の隣りにオ・フン。町内の歴史を紹介し、8月15日に須佐神社で行われる念仏踊りに使われる華やかな神事花など、須佐神社にまつわる文化財が展示されている。館内には食事コーナー完備。10時から5時。月曜休館。大人400円。
<交通> 須佐神社からすぐ
<連絡先> 0853-84-0963

公開！江戸の企業ヒミツ 朝日たたら跡

佐田町高津屋 <指定>県・史跡 偶然発見されたこの遺跡によって、かつては「秘伝」として村下から村下へと受け継がれ、公にされることなかった、たたら秘伝が明らかとなった。

た。砂鉄から鉄を作るためのたたらを造るとき、もっとも労力が払われたのは湿気を取り除くための地下施設。その地下施設の複雑な石積み構造が、発掘調査された状態で保存されている。通常はカギがかかっているため、見学の際は近くに住む管理人の大野氏宅か教育委員会へ連絡を。
<交通> 佐田町役場(バス停出雲須佐)から車20分
<連絡先> 0853-84-0019(佐田町教育委員会)

ハイキングで眺め最高 伊秩城跡

佐田町窪田 室町時代の城跡。防御の施設や井戸などの施設もよく保存されている。頂上からは神戸川から平野が一望できる。ハイキングコースが整備されているので、頂上まで手軽に登れる。
<交通> 佐田町役場からふもとまで車5分

小さいが大きな意味が 切石古墳

佐田町朝原 墳丘の土が流れて内部の石室が露出している。一見、箱式石棺に見えるが、南に開口する古墳時代終りの横穴式石室と推定される。この古墳のような小型の横穴式石室は当時都のおかれた奈良に向いた人物のために造られたとする説もあり、注目される。
<交通> 須佐神社から車5分
<いにしえ> 3巻P29

高麗仏、海を渡る 本願寺

多伎町口田儀 <指定>県・彫刻(金銅造聖観音菩薩坐像) 応永年間(1400年ごろ)この寺の秀閑和尚が高麗から梵鐘などとともに持ち帰った仏像(金銅聖観音菩薩坐像)が安置されている。もとは同じ多伎町の慈眼寺へ安置されていたが、最近この2つの寺を合併した際に移されている。梵鐘は数奇な運命をたどったのち、現在は松江市天倫寺にあり、国の重要文化財に指定されている。
<交通> JR田儀駅から徒歩10分

温泉にはいったあとで 華蔵寺

多伎町久村 華蔵温泉の西側高台にある天台宗の寺院で、天平年間に聖武天皇の勅願寺として行基が

開いたものと伝えられる。仁王門をくぐると雪舟様式の庭園、宝造りの本堂に迎えられる。本堂の隣には男女和合、縁結び、子授けの神様として、金勢大権神が祀られているお堂があり、一見の価値あり。
<交通> JR小田駅から車5分

ロストボ・ル・イン・「窯」 雲州久邑長沢焼窯跡

多伎町久村 <指定>県・史跡 県内で初めて見つかった磁器を焼く窯跡で、大社カントリー・クラブ場内にひっそりとある。1827年ごろに開窯し、のちに松江藩営の窯となり、優品を生産したことで知られる。伊方里生まれの陶工・木村甚兵衛が指導にあたってからは、「久邑焼」「長沢焼」としてとくに有名になったが、藩窯が現在の東出雲町に移されたため廃止された。現在は幅6mという大規模な登り窯の跡が残されている。
<交通> JR小田駅からバス5分 長沢下車、徒歩5分

尼子氏盛衰 鶴ヶ城跡

多伎町口田儀 田儀駅の南西、日本海に面した山の上に戦国時代尼子氏の城跡がある。頂上からのながめは最高。1994年には遊歩道が完成し、気軽にハイキングが楽しめる。頂上には展望台が設けられていて、日御崎まで望める。登り口には駐車場も完備。
<交通> JR田儀駅から徒歩10分で登山口

手引ヶ浦台場公園 口田儀台場跡

多伎町口田儀 江戸時代後期に外国船の来航に備えて造られた台場(砲台)を一部復元し、公園としている。本来は公園西側、田儀湾の東西両岸に3門ずつの大砲を備えていたらしい。日本海が見渡せる休憩所としてよく利用されている。
<交通> JR田儀駅から徒歩すぐ

まさに「華」 佐志武神社

湖陵町差海 <指定>町・無形民俗文(化財) 神事華・神事舞) 湖陵漁港へ行く途中の丘上にある、『出雲国風土記』にも載る古社。毎年10月18・19日に、「国譲り神話」を模したと言われる祭りが行われる。「神事華」と呼ばれる高さ5m、直径5.5mの巨大な傘のような飾り華を数本(以前は5本以上のときもあった)奉納する。ハイライトは19日夕方の、華を支えた人びとが1つせいに本殿を走って回り、数周後いっきに華を倒す場面。
<交通> JR出雲市駅からバス30分 役場入り口下車、徒歩10分

枕の付いた舟形石棺 雲部古墳群

湖陵町東三部 子安神社の北西の小高い丘の上の古墳群。現在は墓地造成のため地形が変わっているが、よく見ると古墳の高まりがわかる。現在埋められていて見ることはできないが、北端の1号墳では内部に枕の付いた舟形石棺が発見され、5世紀前半ごろのもので推定される。2号墳は、造成時にできた崖面から、箱式石棺の一部が露出している。
<交通> JR江南駅から徒歩10分

神西湖周辺は遺跡の宝庫 御領田遺跡

湖陵町東三部 1994年田んぼの整備中に発見、発掘調査された遺跡。県内の平野部では初例の縄文時代後期の四角い竪穴住居跡や、鎌倉時代の貝塚が見つかった。土器や石器も多数出土しており、現在の神西湖が大きな内海であったころの人びとの生活がうかがわれる。現在は埋め戻され、説明板がある。
<交通> JR江南駅から徒歩15分

おたっきー情報

『出雲国風土記』によれば、古代の高速道路「山陰道」が多伎町内も貫いており、駅があったという記載があるが、場所はわかっていない。だれかに手がかりを見つけてもらいたい。「駅」の文字の書かれた土器などがあれば大発見。